

2022/1 ~ 2022/6

■常滑ライオンズクラブ会長スローガン
**「原点への回帰
 常滑のまちと人のために
 65年目のウィサーブ」**



ライオンズスローガン

- 国際会長
- We Serve (多様性でウィ・サーブ)
- 334 - 複合地区
- 将来を見据え 奉仕と変革の能動者となろう
- 334 - A 地区
- 「受け継ぐ奉仕 未来へつなげ We Serve !」

ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区 5R1Z

TOKONAME LIONS CLUB

常滑ライオンズクラブ結成65周年



常滑ライオンズクラブへのアクセスは <https://www.tokoname-lc.jp>

常滑ライオンズクラブ

事務局が移転しました ➔

〒479-0003 常滑市金山字上砂原99
 とこなめ焼卸団地協同組合 事務所2F内
 TEL:0569-89-8850 FAX:0569-89-8851
 E-mail:office@tokoname-lc.jp

第1539回

1月第1例会「新年家族会」
2022.01.08(土) 委員長 水野裕仁



◆例会セレモニー

会長挨拶

あけましておめでとうございます。

ご家族の皆様には、日頃からライオンズクラブの活動に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

今年も、お正月休みは、例年どおり志賀高原でスキーを楽しんできました。会長という立場もあり、少し控えるところはありますか、感染予防のためにも体力は大切ですので、活動のある時、無い時、オンオフをしつかり切り替え、あと半年、皆さんのご協力をいただいて頑張っていきたいと思います。



◆新年家族会



斎田前会長のウイ
サーブで懇親会の
始まりです。



宴の半ばで荻野裕直さんのお嬢さん(5歳)がバイオリン演奏を披露。3歳から始めたというバイオリンを、お母様のピアノ伴奏で、かわいらしく演奏されました。

次期三役、第一副会長、 第二副会長エレクト紹介

次期幹事 藤井良秀さん「こんなに早く、2回目の幹事になると思っても居ませんでした。

富田会長のご理解をいただきながら、斬新な発想で、参加が楽しみになる例会や活動を目指していきたいと思っています。よろしくお願ひします。」



誕生日祝い品贈呈

猪口八洲彦さん「78歳になり年齢を感じるようになりましたが、まだまだ頑張りますので、よろしくお願ひします。」

第1540回

1月第2例会「ゲストスピーチ」
2022.01.18(火) FWT委員長 瀧田安恵

メインゲストは、明和高校楽科を経て、愛知県立芸術大学出身、それぞれがコンサートやコンクールで活躍される近藤聰美さん(ピアノ)と宮脇泉月さん(バイオリン)のお二人のミニコンサートでした。

邦楽「春の海」から始まり日本歌謡、クラシックと幅広い演奏を楽しみました。



◆例会セレモニー

会長挨拶



感染拡大の中の例会となりました。感染防止の観点から、時短で開催します。

今日は、こども食堂とフードバンクのお話です。次世代育成は、我々の活動の中では必須の部分であります。近所づきあいで子どもたちを支援していくことが困難な時代になってきており、社会や組織として対応していく必要を感じていますので、しっかりと聞きたいと思っています。



アワード贈呈

富田 司さんへ、メルビーンジョンズフェロー \$1000 献金ピン(11回)の贈呈です。

◆例会行事

ゲストスピーチ

常滑市社会福祉協議会の前事務局長 山下圭一様に、「常滑社会福祉協議会が行っているこども食堂とフードバンクの取り組みについて」と題し、お話しいただきました。



まずは、こども食堂の定義に始まり、その実態について一般論をお聞きしました。食事や食材を提供する場づくりだけでなく、子供たちの学習支援や困窮する親への子育て支援、子供たちの居場所作りなども、大切な役割であると言うことでした。

一方で、「こども食堂」と言う言葉を知っていても、その内容について認知度が低かつたり、世間での認識不足な面があつたりして、本来対象となり来て欲しい子どもたちが来ていなかつたり、運営もボランティアが中心で維持が難しい事、地域との連携が十分にできていないなど、課題も多いという事でした。常滑市内にも、社会福祉協議会が直接運営するものとは別に、こども食堂があるが、コロナ禍と言うこともあり、継続的な運営が困難になっているようです。

また、コロナ禍から就業困難な親も増え、フードバンクの利用件数は、少し前に比べ数十倍と大幅に増えているとのことです。

今後は、「こども食堂の運営を支援していくことはもちろん、必要とする人が利用できるように、正しい情報提供や参加への勧誘、幅広い地域と連携した支援窓口を広げていくこと、とりわけ困窮しているこどもたちが、気兼ねせずに食事を通じた社会体験が出来ることを目指して、活動をしていきたいと考えています。ライオンズクラブとして、また市民として、ご協力ご支援をお願い申し上げます。」



第1541回

2月第1例会「会員スピーチ」
2022.02.01(火) 会則財務委員長 猪口八洲彦

◆例会セレモニー

新型コロナの感染急拡大により、食事を持ち帰りとして、時短開催しました。

会長挨拶

皆さんのご協力のおかげで、今年度1回目の会報ができあがりました。ありがとうございます。

現在、常滑市と中部電力パワーグリッド様との間で、市内の防犯カメラの設置推進が検討されています。我がクラブでも協力できないかと言う提案があり、打ち合わせに伺ったところ、60周年の際に寄贈した頃に比べ、技術的にもコスト的にも手軽に設置できることを知り、技術の進歩を感じました。

今日は、会員の中島さんから主に相続についてお話を聞きます。しっかりと学びたいと思います。



2022.02



誕生日祝い品贈呈

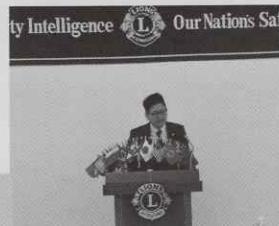
東野勝彦さん、富田 司さん、藤井清章さん、永田真一郎さん、浜本明伸さん、赤井宏光さん、お誕生日おめでとうございます。

藤井清章さん「満70歳になりました。コロナ禍で、気を遣う生活が続いますが、身体を鍛え体力を付け、健康に感謝して過ごしたいと思います。」

◆例会行事

会員スピーチ

「意外と知らない法律 よもやま話」と題し、相続を中心にお話しいただきました。



普段は仲の良い兄弟や親族も、いざ相続の時が来ると、思わぬ問題が生じることが少なくありません。

兄弟や家族が良くても、その配偶者や親戚などからの思わぬ要求が出て来ることがあります。会社などの場合は、関わる人が多くなり、更に難しくなります。

法定上の相続分与の規定もありますが、感情的な事も絡みますので、そう

言った相続のトラブルを避けるためにも、できれば元気な今の中に遺言書を作成しておくことが重要です。遺言書の種類や作成方法、効力、遺言書の中で指定できる内容などを理解しておくことが必要で、具体的にお話しをしていただきました。

生前は、仲良く揉める事はないだろうと思うのではなく、揉ることも考慮して準備しておくことが、残された遺族にとっても有益なことだと思います。

第1542回

2月第2例会「ゲストスピーチ」
2022.02.15(火) PRIT委員長 東野勝彦

◆例会セレモニー

まん延防止措置発出中のため、時短開催しました。

会長挨拶

富田第一副会長が代理で挨拶

新聞とケーブルテレビという仕事の関係もありますし、また、たまたま息子同士が同じ幼稚園に通つており母親同士も仲良く、本日のゲストである成田さんとは、家族ぐるみでのお付き合いをさせていただいております。そう言った意味でも、今日は楽しみにして参りました。今後の活動の参考になればと思っています。

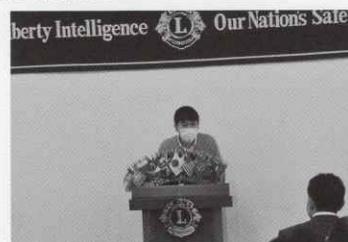


◆例会行事

ゲストスピーチ

中日新聞常滑通信局兼中部空港支局の通信局長 成田崇憲さんに「新聞記者が考える魅力的な常滑の情報発信」と題して、お話ししいただきました。

常滑に赴任して直ぐの、2019年の11月第1例会にお越しいただいて以来の2回目になります。



情報発信ということで、現在常滑市が注力している観光振興を題材としてお話ししていると思います。

「観光」というのは、本来その国の威光をよく見て観察すると言うところから、現代風に簡単に言ってしまえば、地域の自慢できる、誇れるところを見せると言うことだと思います。

現在、常滑市観光戦略プラン2022を策定中で、事前調査の中に、常滑市の観光資源に関する認知度・興味度を表した数値があります。結果として、興味度は高いが、認知度が低いと言う項目が多く見受けられます。認知度を高めていく事も一つの方策ですが、私の知る範囲でも、常滑には自慢できる素晴らしい観光資源が沢山ありますので、そこをもっとアピールしていくべきだと思います。

新鮮な食材が安く買える「一六朝市」や新鮮で美味しい豊富な「海産物」など、常滑ならではの資源が、うまく情報発信されていないと感じます。常滑市民の控えめの性格の所為かもしれません、もっと自信を持って発信、積極的に自慢していく良いと思います。

歴史と伝統を踏まえた「常滑」、豊かな自然のある「常」、あたらしいりんくうエリアの「常滑」、それぞれの特性を全面に出て、どんどん情報発信していく欲しいと感じます。



アワード贈呈

LCIFキャンペーン
100 ライオン・アクションピン

富田第一副会長から、
亀岡基幸さんに贈られました。

第1543回

3月第1例会「ゲストスピーチ」

2022.03.01(火) 会員拡大委員長 井口彰二 まん延防止措置発出中のため、時短開催しました。

◆例会セレモニー

会長挨拶

本日スピーカーとしてお越しいただいている東海LC会長の坂野様とは、地区に出向した際に、何度か一緒に活動させていただき、大変お世話になりました。

コロナのオミクロン株は、感染しやすく高熱が出るようですので、皆さんも十分に注意してください。



マイルストーンシェブロンアワード贈呈

在籍30年 佐藤博之さん 柴山東一郎さん
在籍25年 勝崎 覚さん 富田 司様さん

在籍20年 東野勝彦さん

在籍15年 伊藤文一さん

在籍10年 伊藤謙一さん

在籍10年 松本憲幸さん

佐藤さん「80歳で30年となりました。「人老いて心老いず心朽ちず」とあと20年生きます。



LCIF ライオンズ・サポーターピン贈呈

井上富郎さん、亀岡基幸さん、

富田 司さん、伊藤謙一さん、

荻野裕直さん

亀岡さん「また、机の引き出しのコレクションが一つ増えました」



誕生日祝い品贈呈

荻野裕直さん、井上浩和さん、小田川尊史さん、川原和敏さん、(坂野会長)おめでとうございます。

井上さん『85歳になります。十数種類の薬を飲んでいましたが、腎臓の検査数値が悪いことから、減塩の食事療法を続けたら、腎臓の数値だけでなく、血压等も正常化して、もむ薬の数が減りました。皆さんも、塩分、糖分の取り過ぎにご注意ください。』



◆例会行事

ゲストスピーチ

東海LC会長 坂野友昭様

「キャビネットよもやま話」と題して、講演いただきました。



2019-20年度に東海LCから根岸ガバナーを輩出した際には、貴クラブからも沢山の出向をいたさ、ご協力いただきましたことに、先ずは御礼申し上げます。ありがとうございました。

この5Rは、334-A地区119クラブの中で、京都LCをルーツとする特異な成り立ちを持つ地域です。先ほど、伊藤会長からその理由をお聞きして納得しました。50周年の際の記念誌もいただきましたので、後でしっかりと読ませていただきたいと思います。

この後、キャビネット会計の経験から、キャビネットの意味や構成員など、組織的な部分から業務や表面に出ない様々な役割、またキャビネットの中で行われる公式、非公式含めた様々な会合のことなどを、お話しいただきました。キャビネット会計ならではのご苦労もお話しいただき、日頃のクラブの活動だけでは知り得ない事柄をたくさん知ること出来、楽しくお話を伺えました。

プロウォーキング実施

例会後には、地区から統一事業として要請のあった「プロウォーキング(ゴミ拾いウォーキング)」を実施しました。



第1544回

3月第2例会「結成65周年記念例会」

2022.03.25(金) 委員長 富田博夫

PRIT 委員長 東野勝彦

◆結成65周年記念式典



記念撮影の後、料亭か茂免「すずかの間」にて、結成65周年の記念式典が開催されました。コロナ禍でありますが、メンバーとご家族の34名が参加しました。

会長挨拶の後、担当委員会作制作の60周年からの5年間を振り返る映像を見て、活動への思いを新たにしました。

会長挨拶



委員長挨拶



永年在籍表彰

在籍30年以上のメンバーに敬意を表し、表彰を行いました。

- 42年 井上浩和さん
- 36年 松下英勝さん
- 34年 杉江省一郎さん
- 32年 亀岡廣昭さん 井上富郎さん、藤井胤男さん
- 31年 杉江雄太郎さん
- 30年 佐藤博之さん 柴山東一郎さん 井口彰二さん
亀岡基幸さん



◆感謝の宴

式典終了後は、65周年を迎えた感謝の祝宴を開催しました。料亭か茂免さんの素敵な料理をたのしみつつ、思い出の映像も交えながら、楽しいひとときを過ごし、メンバーの親交を深めました。



第1545回

4月第1例会「会員スピーチ」

2022.04.06(水) 三役

◆例会セレモニー

会長挨拶

前回は、結成65周年記念例会にご参加いただきありがとうございました。参加出来なかつた方には、記録映像を見ていただく機会を作りたいと思っています。

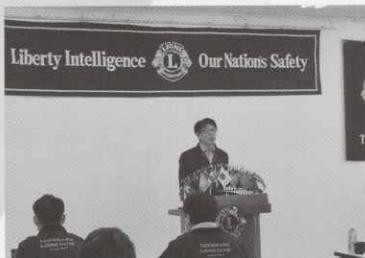
4/2には、献血活動も行いましたが、コロナ禍で、なかなか思うような活動ができていません。今後は、感染状況を見ながら、少しずつ通常の活動に戻していきたいと考えています。

永年在籍者表彰

先日の記念例会を欠席された対象者を表彰しました。

- 在籍32年 亀岡廣昭さん
- 在籍30年 柴山東一郎さん、
亀岡基幸さん

おめでとうございます。



◆例会行事

会員スピーチ

「結成65周年の幹事、会計を経験して」と題し、今期幹事の関さんと、会計の荻野さんが今年度の運営を振り返りました。



第1546回

4月第2例会「334-A 地区年次大会」
2022.04.23(土) 出席計画委員長 水野裕仁

◆大会式典参加



名古屋マリオットアソシアホテルにて、
334-A地区 第68回年次大会が開催されました。

新型コロナの感染予防対策として、会場
へは代議員のみが参加し、一般メンバー
はオンラインでの参加となりました。

◆国際平和ポスターコンテスト表彰

常滑クラブからエントリーした常滑市立鬼崎
中学校の小泉晴歌さんの作品が、見事入賞を果
たし、当日、ご本人が参加され表彰を受けました。
おめでとうございます。



第1547回

5月第1例会「会員スピーチ」
2022.05.10(火) 記念事業部会長 三輪一馬

◆例会セレモニー



会長挨拶

本年度も残り少なくなってきました。
今日は、今後のクラブ活動を考える例会です。
皆さんと共に、考えていきたいと思います。
新型コロナのまだまだ終息しませんが、早く
マスクの無い生活に戻れることを楽しみにして
います。

アワード贈呈

先日の地区年次大会にて、キャンペーン
100に賛同してLCIF基金に協力したクラ
ブとして、「SUPER MODEL CLUB」として
表彰を受けました。



誕生日祝い品贈呈

中島康雄さん、おめでとうござ
います。

「これからバリバリ活動に励
みます」と中島さん。

◆例会行事

瀧田さんの進行で、伊藤会
長、三輪第二副会長、藤井第
二副会长エレクトが、今後の
クラブの活動について、意見
を述べました。



第1548回

5月第2例会「会員&ゲストスピーチ」
2022.05.24(火) 記念誌部会長 富田博夫

◆例会セレモニー

会長挨拶

本日は、65周年記念誌のプレゼンを行います。今回は、対内的な内容として、これから活動に活かせる動画版と冊子版を作成しています。

会長として寄稿するにあたり、今年一年を振り返ることができました。外から見たライオンズクラブの評価も感じられる記念誌にしていきたいと思っています。



常滑市ボーイスカウト連絡協議会
会長 水野寛次様

毎年ご支援ありがとうございます。コロナ禍でありますが、スカウトの安全な活動のために活用していきます。今後とも、よろしくお願ひします。



ガールスカウト常滑連絡会
会長 伊奈富美子様

愛知16団が60周年を迎えるに当たり、チーフを作る資金として活用させていただきます。

自分で考えて行動できるスカウトを目指して、活動してします。今後とも、ご支援をお願いします。



◆例会行事

結成65周年記念誌発刊を控え、メンバー発刊への思いをプレゼンしました。



伊藤会長

対的に、過去5年間の活動を中心に、クラブの意義を再確認できる記念誌を目指しました。



平和堂 渡辺郁雄様

周年毎に、記念誌に携わっております。読みやすい、分かり易いを目指して記念誌作りを進めておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



CCNC 富田 好様

お客様の要望を番組に活かす役割を担う部署です。

ライオンズクラブと日頃から共に活動する皆様のインタビューや記録を編集する中で、ライオンズクラブへの感謝を表すエピソードが沢山ありました。

6月末には、記念誌、記念DVDを発刊予定です。

今後の記念誌作成に活かすだけ無く、随時活動を振り返る際にも有効となるよう、資料や記録のデジタル化等を推進して行くことも提案したいと思います。

富田記念誌部会長

詳しい内容は、本編の完成を楽しみにしてください。

目次を参照して、掲載概要の説明がありました。

第1549回

6月第1例会「次期三役スピーチ」
2022.06.07(火) 次年度三役

◆例会セレモニー

会長挨拶



◆例会行事

次期三役から、多様性について理解を深めるスピーチがありました。



誕生日祝い品贈呈



今、トレンドの大河ドラマ「鎌倉殿」を模した演出で、三役が目指す多様性について解説しました。

次期三役からは、次年度の活動について、それぞれの考えをお話しいただきました。7月からが楽しみになりました。

亀岡廣昭さんおめでとうございます。

第1550回

6月第2例会 「バッヂ交換例会」
2022.06.24(金) 出席計画委員長 水野裕仁

◆例会セレモニー

会長挨拶

会長として、最後の挨拶となりました。準備から、一年半余りを、無事終えることが出来そうです。

記念誌の企画で、周年事業に深く関わった方々の対談を行い、当時の事業実施の思い出話で盛り上がりました。それぞれのネットワークや経験を活かして、事業を推進して行った貴重なお話しを聞くことが出来ました。



三役退任の挨拶

関幹事

ありがとうございました。
65周年もありましたが、一年終えることができました。

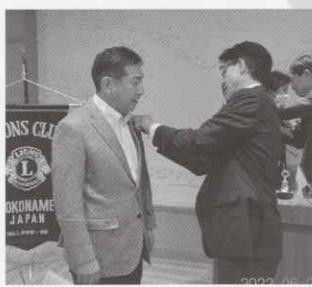
荻野会計

一年間、事務局の上村さんをはじめ、皆さんのご協力で務めることができました。



会長エレクト挨拶

重たいバッヂをいただき、新たな気持ちが湧いてきました。
前三役の思いを引き継いで頑張って参ります。ご協力をお願いします。



5R 献眼・献腎・献血・骨髓移植 推進・聴覚・糖尿病予防委員 退任挨拶

阿知和洋介さん 一年間、コロナ禍で運営に工夫を凝らした活動になりました。引き続き、ご協力をお願いします。

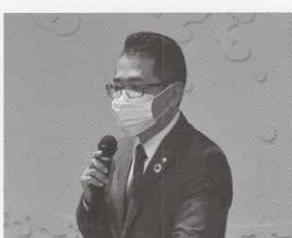


幹事エレクト挨拶

多様性を考え、楽しい運営を目指したいと思います。

会計エレクト挨拶

久しぶりの三役です。しっかりと務めます。



5R アラート・環境保全委員 退任挨拶

伊奈資浩さん コロナ禍でなかなか対面の会議が出来ずに苦労しましたが、社会福祉協議会との災害時の連携協定などを進めて参りました。今後の活動につなげていくことが大切だと感じました。

三役エレクト挨拶・次期出向者紹介

富田会長 重たいバッヂをいただき、新たな気持ちが湧いてきました。前三役さんの思いを受けて頑張っていきます。皆様のご協力をお願いします。

藤井幹事 多様性を考え、楽しい運営を目指します。

永田会計 久しぶりの三役です。しっかりと務めます。

次期ZC 伊藤謙一さん、ZCA 三輪一馬さん、5R LCIF・国際関係委員 関 豊晃さん、5R LQ・薬物乱用防止副委員 伊藤文一さんの紹介がありました。

◆例会行事

一年を振り返り、お互いを労う懇親会が行われました。



アクティビティ 他

◆第2回献血活動

ペイシア常滑インター店駐車場にて、今年度2回目の献血活動を行いました。

当日は、最新の献血車を導入して、店舗入り口付近で、ライオンズメンバーが、献血への協力呼びかけとPR活動を行いました。57名の方にお越しいいただき、42名の方から、400ml献血(84単位)をいただくことができました。

ご協力、ありがとうございました。



◆ボーイスカウト、ガールスカウトへの助成金贈呈

常滑市ボーイスカウト連絡協議会、ガールスカウト常滑連絡会に、継続的に行っている支援を、今年も助成金として贈呈しました。

BSは、コロナ禍での有意義な活動に、GSは、周年記念事業に活用していただきましたとのことでした。



◆常滑市社会福祉協議会が行っている子ども食堂への支援

子ども食堂とは、「子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂」のことと言います。

食事の提供方法としては、「食堂型」「弁当配布型」「バントリー型：お米や野菜などの食材を個別セットにして配る」などがありますが、その他にも「地域交流の場」「学習支援の場」「子育て支援の場」として、その活動は地域の中で活かされています。常滑市社会福祉協議会では、2022年より「子ども食堂・子どもを地域で支えるプロジェクト」を進め、①食堂型・弁当型実施のための運営支援。②子ども食堂等を必要とする人へ情報を伝え、参加を働きかける。③地域の個人、団体、会社、お店等がバントリー型で食材を配布。④困窮している家庭の子どもへ地域の飲食店で飲食できる食事券を提供していくことを思っています。常滑ライオンズクラブとしても継続的に助成を行っていこうと思います。

FWT委員会 瀧田安恵



FWT委員会 瀧田安恵

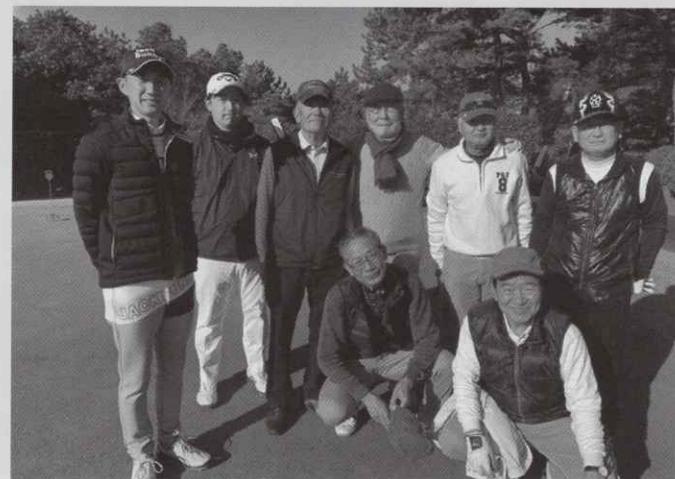
2022年4月1日(金)

第4回伊藤譲一会长杯

新南愛知CC

優 勝:井口 彰二

準優勝:伊藤 文一



2022年6月21日(火)

第5回伊藤譲一会长杯・名古屋親睦ゴルフ

多治見CC

優 勝:水野 裕仁

準優勝:杉江 省一郎

2022年7月28日(木)

知多カントリー倶楽部

伊藤譲一会长杯取りきり戦

優 勝:荻野 裕直

第1回富田博夫会長杯

優 勝:荻野 裕直

準優勝:大宮 充晴



写楽会

常滑ライオンズクラブ写楽会は、ライオンズクラブ会員・OB会員及び写真愛好者17名が集い、写真を通じて楽しい親睦の和を広げています。

四季を通じて、撮影会の企画や、近隣のイベントや見どころの情報交換を行い、カメラを持っては出かけています。

毎月1回の定例会を始め、講師の先生を囲み、撮影ポイントや構図などのレベルアップを図り、作品作りを行っています。

今年は、3年ぶりに行われた第65回の常滑市美術展に、多くの会員が出品することができました。その結果、赤井恒雄会員の市長賞を始め、福田哲久会員・渡邊賢司講師が奨励賞を受賞され、久しぶりに楽しいお祝いの会を開催することができました。

ダフネ珈琲の店内を飾る写真の展示などの活動や、夏には、常滑市役所の市民ギャラリーでの写真展の開催を予定しています。

写真を通じて、楽しい仲間づくりをしたいと思っています。興味のある方は、是非仲間に入ってください。



1年間ありがとうございました

会長 伊藤 謙一



2022年3月25日、常滑ライオンズクラブ(1957年3月25日結成)は、65周年を迎えることが出来ました。過去の記念誌や資料などから結成当時の創始の精神を学び直し、現在行っている事業や活動が常滑のまちや人にどのような効果を与え、今後66年度以降の方向性をどのように定めていくか?を、メンバー全員で考えていくために、会長テーマは「原点への回帰 常滑のまちと人のために 65年目のワイサーク」としました。

常滑のまちと人のために必要な事業と活動を行うための組織表と事業計画を基に予算を組み立てました。記念事業は次世代を担う若者に夢を描いてもらい、その夢を応援する講演会を企画しようと思いましたが、新型コロナによる緊急事態宣言やまん延防止条例などが発動されたことで実現には至りませんでした。以下、本年度の活動を振り返りたいと思います。

【会員拡大委員会】334-A地区キャビネット会計経験者の坂野友昭さん(本年度東海LC会長)をお招きして地区的役割りや活動内容などを学びました。

【会則財務委員会】予算の執行状況を見守つていただき、内規の変更などを検討していただきました。

【PRIT委員会】年二回の会報の発行と国際平和ポスターの募集から市役所新庁舎での展示までを担当していただきました。国際平和ポスターは、334-A地区で優秀賞5枚の内の1枚に入賞し地区年次大会で表彰をしていただきました。

【出席計画委員会】メンバーとその家族を楽しませる新年家族会と次年度へ繋げるバッチ交換例会を企画していただきました。

【YCLEレオ委員会】2019年にマレーシアへ派遣生として送り出した山口さんの近況報告とYCE事業の仕組みと成果を学びました。受け入れと派遣の経験を活かして国際社会に羽ばたいていくようとするお話は、メンバーにとっても大きな刺激になりました。

【LCIF委員会】近年、自然災害への拠出が増えているLCIFからの交付金の現状、常滑市における防災対策と災害予防について学びました。

【環境保全委員会】常滑市と中部電力常滑営業所が協働して取り組む事業(市内の小中学校に防犯カメラを設置する)に協力することが出来ました。

【四献推進委員会】スーパーマーケットペイシアさんに協力していただき、献血活動を二回実施することが出来ました。

【LQ薬物乱用防止委員会】市内小学校での薬物乱用防止教室に加えて、地域を見守つてみえる民生委員の皆様にも薬物乱用防止を学んでいただき、ともに地域を良くしていくための講習会を行いました。

【FWT委員会】ヘアードネーションなどの継続事業に加えて、常滑市内の「子ども食堂」への助成を始めることができます。

【記念事業部会】常滑市役所新庁舎2階子ども課前の待合スペースにカラフルで可愛い形の椅子一式と1階の子ども図書館へからくり時計を寄贈することが出来ました。

【記念誌部会】過去の活動を振り返ることの出来る動画版の記念誌と会員拡大などにも役立つ冊子の記念誌を作成することが出来ました。

【秋季家族会】マジカルパレードビーチのミニコンサートでメンバーと家族みんなが盛り上がりいました。

【春季家族会:結成65周年記念例会】2022年3月25日、結成からちょうど65年目の日に、名古屋市白壁の料亭か茂免さんで式典と懇親会を開催しました。式典では、61年度から65年度までの活動や事業を動画で振り返り、常滑ライオンズクラブの地域における存在意義とメンバーにとっての存在価値を再確認することが出来ました。永年在籍表彰(30年以上在籍)では、長年に渡ってクラブを導いてくださった11名の方に感謝状をお渡しし、その後の懇親会では、美味しい料理とアトラクションで二年振りの「会食」を楽しみました。

会長としての一年間は、僕にとって「常滑ライオンズクラブに在籍する意義」と「常滑のまちや人のために活動できる幸せ」を再確認することの出来た一年となりました。会員の皆様からのご支援とご協力に感謝申し上げます。

「一年を振り返って」

幹事 関 豊晃



結成65周年の幹事職、何とか任務全うできました。

周年という特別な年、そして2年程前から続いているコロナ禍、どうなることやらと思いつつ、やれることを模索しながら、時には網渡りの一年だったと思われます。

一番思い出になつたのは結成65周年記念例会です。コロナで蔓延防止措置が解除されるかどうかの時期、そうは言つても準備も進めていかなければならない、色々な葛藤はありましたか、結果的に伝統ある料亭で皆様と樂しく周年のお祝いができたのが最高でした。

日々に映像も作りましたが、皆様に5年間を樂しく振り返つていただけたなら幸いです。

60周年の年に入会させていただき、5年後に幹事をさせていただきましたが、ようやくライオンズの「ラの字」がわかつたような気がした一年でした。

今年の経験を活かして今後「イオンズの字」がわかるようになるよう一歩ずつ活動していきます。

「一年を終えて」

会計 萩野 裕直



一年があつという間に過ぎてしまった。

とかく会長や幹事、事務局さんにおんぶに抱っこ状態だった様な気がする。他人の背中をみて半世紀近く人生を歩んできたがふと自分自身はどうなのかがよくわからない。65

周年という節目の会長は最後まで周りに気を使っていたことが功を奏し無事終わりを遂げようとしている。奉仕の心ややり遂げる心はやはり昔から変わっていなかつた。一生懸命な人は相手を少し素敵なお気持ちにしてくれるのには変化がなく、自分自身もそうしなければと思いつつ…本年の貴重な体験と他人の人生観を基にこれからも何か少し奉仕の心を持ち続けたいと思いました。眞面目なことを書こうと思えば思うほど何か深みに落ちていく感じが…皆さんの温かい支えが嬉しかつたです!

ありがとうございました!ワイサーク!!

次年度三役紹介

1年間よろしくおねがいします

会長 富田 博夫



この度、伝統ある常滑ライオンズクラブ第66代会長に就任いたしました富田博夫でございます。常滑ライオンズクラブの歴史を振り返り、重責を感じておりますが、今年度のスローガンを「受け継ぐ、引き継ぐ、We Serve ~多様性の尊重と思いやりの心で~」とし、メンバーの皆様と地域に寄り添い、住民のニーズに応えていく所存です。

未だ収束が見えない新型コロナウイルスの影響を受け、クラブ運営、奉仕活動にも大きな変化を余儀なくされる状況が続いております。人々の価値観や行動の変容に対応して、少しずつでもライオンズクラブの在り方を改革し、活性化していくことがライオンズクラブ存続のために求められています。

まずはニューノーマル(新しい生活様式)に欠かすことのできない多様性を理解し、人と人のあらゆる違いを大切にし、一人ひとりが違うこと、その差異が新たな価値を生み出すことに取り組んでまいります。

目配り、気配り、心配りこそが、ライオンズクラブの誇りです。育みましょう!多様性の尊重(あるがままを受け入れる柔軟さ)と思いやりの心を。メンバーの皆様のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

会長 富田 博夫



「多様性あるライオンズクラブ運営」幹事 藤井 良秀

今年度は、『多様性!』が会長のテーマであり、キーワードです。ライオンズ活動をしてゆく中で色々な考え方があります。皆様の多くの個性に対応しながらクラブ運営をさせていただきます。また、それが会員の皆様一人ひとりが楽しい気持ち(幸せ感)になれば他人へ優しくしたり、奉仕をしようとする気持ちができます。そんな皆様の幸せエネルギーを集約して「大きな奉仕の力」として社会に役立てる活動を行いたいと考えます。そのため、幹事として皆様一人ひとりの思う、そして感じる楽しさを演出し、家族の

ような愛情あふれるクラブ運営を行います。まだまだ経験不足で分からることも多くあります、皆様の笑顔を描き楽しさ一杯で活動させていただきますので一年間よろしくお願いいたします。

会計 永田真一郎



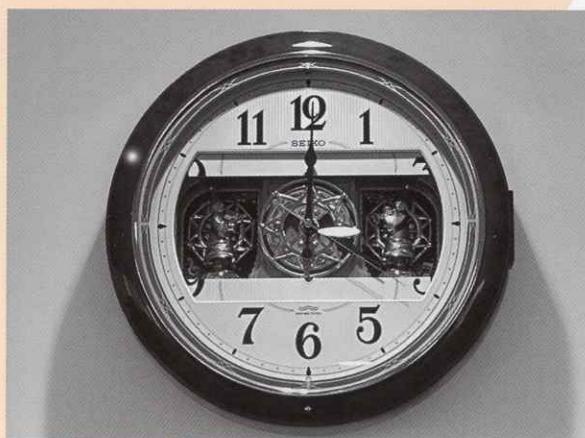
今年で入会15年目に入りました。今まで、幹事、会長と務め、しばらくのんびりしたいなという気持ちも薄れかけてきた所に、今期会計という大役を頂き身の引き締まる思いでいっぱいです。

今年の3役は、常滑ライオンズ60周年時に部会長として、実行委員会幹事として一緒にあれこれ悩んだ間柄。あの当時にやり残した事や、いくつかの新しい事にもチャレンジをする事になると思います。3役の私自身が今からワクワクしています。

会計という職責はもちろんしっかりとこなし、会長、幹事と共に3役一丸となって1年間頑張つていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

常滑ライオンズクラブの情報は、下記ホームページにてタイムリーに発信しております。

<https://www.tokoname-lc.jp>



常滑ライオンズクラブ結成65周年記念事業寄贈のイスとからくり時計

助成金アクティビティ 2021年～2022年

—1月分—

1. 金銭 結成65周年記念事業として 常滑市役所新庁舎2階ごども課前に待合椅子と1階こども図書室に時計を寄贈した。
892,760円

金銭奉仕 892,760円 労力奉仕 なし

—2月分—

1. 金銭 2/4 トンガ付近火山爆発における災害援助金を贈った。
@1000円×46名 46,107円

金銭奉仕 1件 46,107円 労力奉仕 なし

—3月分—

1. 労力 3/1 地区内統一事業「プロウォーキング」に参加 セラモール内の公園でゴミ拾い活動をした
28人×1H

金銭奉仕 なし 労力奉仕 1件 28時間

—4月分—

1. 労力 4/2 ベイシア常滑インター店にて献血活動を実施
3H×10名
30時間

金銭 4/2 献血者にお礼として 除菌ジェルを進呈 呼びかけにライオンズ名前入りポケットティッシュを配布
26,740円

200ml 0名 400ml 42名

2. 金銭 4/26 常滑市社会福祉協議会が行っているこども食堂とフードバンクに支援金を拠出する
100,000円

金銭奉仕 2件 126,740円 労力奉仕 1件 30時間

—5月分—

1. 金銭 5/24 ガールスカウト常滑連絡会へ野外活動時着用する常滑独自のネックチーフ40枚を寄贈した。
51,920円

2. 金銭 5/24 常滑ボーイスカウト連絡協議会へ一人用テント7張 購入費の補助を助成した。
80,000円

金銭奉仕 2件 131,920円 労働奉仕 なし

—6月分—

1. 金銭 6/30 常滑市内小学校へ防犯カメラを贈った。
360,000円

金銭奉仕 360,000円 労働奉仕 なし

編集後記

コロナの感染拡大の為、社会情勢が奉仕活動に大きく影響を及ぼしている中、我が会長は例会を1回も休みなくチャレンジしました。各委員の色々なアイディアに答えてゲストを呼び、又スライドを作成したり、あらゆる方法で楽しく意義ある例会を行ってきました。 委員長 東野勝彦

常滑ライオンズクラブ

会長	伊藤 謙一	委員長	東野 勝彦	委員	杉江省一郎
幹事	関 豊晃	副委員長	権田 泰一	委員	竹内 治光
会計	荻野 裕直	委員	水野 裕仁	委員	富田 司
第一副会長	富田 博夫	委員	井上 富郎	委員	赤井 宏光
理事	阿知和洋介	委員	伊藤 辰矢	委員	浜本 明伸
		委員	小田川尊史		

PRIT・出席計画委員会